

## **Chapter Leaders Meeting (CLM) 2014にて、 寄せられた質問への回答**

---

**APU校友会 ボードチーム  
2014年11月1日**

## 2014年8月に開催されたCLMで寄せられた質問や要望への回答を記載します。

CLからの質問・要望等	備考	回答
活動支援の方針、監査	校友の活動支援の方向性の決定、監査は誰がやっているのか。	支援全体の方向性はボードで決議。 予算承認の枠組みは以下の通り。 10万円未満／事務局長 10万円以上100万円未満／CFO財務担当 100万円以上／ボード また、校友会全体の予算執行の監査は、監事により毎年行われる。
活動支援の方針	支援の方針をボードで作成するのはなぜか。	校友会全体に関わる施策（チャプターをクロスするもの）は、全体を鑑み、ボードが作っていく。
予算関連	中長期的予算の見通しを共有してほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャプターの活動費、校友の自己実現の費用に重きを置く。</li> <li>・四半期に一度、予算の執行状況を校友会ホームページに掲載する。</li> </ul>
ボードとチャプターの位置関係	ボードが上にいる（独裁）と感じている。またボードに対する拒否権を持ちたい。	ボードは全チャプターをクロスした施策を実行する。一方で、これまで以上にチャプターとのコミュニケーションを深め、意見を反映させていく。
C経費マニュアルの改善	特に予算がわかりにくので改善して欲しい。	2014年11月上旬に財務担当と事務局が改善案を立案。その後、CLからの意見を求める。
CL間の交流機会の支援	CLが交流する機会を作って欲しい。	RLM（別紙参照）を開催することで、少数チャプターによる効率的な意見交換の場を持つ。またボードとチャプターの意見交換の時間も持つ。
CLの責任の再確認	CLM Feedbackシート提出遅れへの対応等、CLとしての自覚が見受けられない人がいる。	責務を果たしているCLと比較すると申し訳が立たない。ペナルティーを設けることも検討していく。

以上